

提供日	令和 8 年 4 月 28 日 (火)
タイトル	海洋教育パンフレットについて
内容	<p>本市では、令和元年度より、豊かな自然環境や海の資源を活かした「海洋教育」に取り組んでいます。このたび、市及び全小学校で実施している海洋教育の取組や内容について、市内・市外へ広く発信することを目的に、本パンフレットを作成いたしました。海洋教育で身につけたい力や学びのポイントを示し、市内各校でそれぞれどのような取組をしているか記載しております。</p> <p>本パンフレットを基に、それぞれの小学校がどのような海洋教育に取り組んでいるかを相互に知ることができます。また、市内外の方にも海洋教育の取組を広く知ってもらうことで、本市の特色ある教育活動を認識していただきたいと考えております。</p>
担当者コメント	本市の海洋教育の周知のため、市内外に向けて本市の海洋教育の魅力を発信すべく、イベント会場や海洋教育交流会等で配布することを目的に作成しました。はんなん海洋リテラシーを中心に構成した手にとってもらいやすく視覚に訴えかけるようなパンフレットに仕あげております。
添付資料	海洋教育パンフレット
担当課	阪南市 生涯学習部 学校教育課 両口・林 電話 072-489-4541(直通)

阪南市の子どもたちが取り組んできた海洋教育

阪南市立 尾崎小学校



海岸の清掃

海岸清掃を通して、落ちていた物から環境問題を学習。



アマモの花枝採取

アマモの花枝を採取し、採れた種をまいて保全活動をしたよ。

阪南市立 西鳥取小学校



海の生き物飼育

アマモ場の生き物を飼育し、海の理解や関心が広がった!



聞き書き学習

海に関わる人に取材し、環境について考えをまとめ発表!

阪南市立 下荘小学校



地引網体験

地引網体験で出会った生き物を観察し、体験カードを作成。



石ころアート

干潟で拾った石に色をぬり、想像を膨らませて作品づくり。

阪南市立 東鳥取小学校



ウミホタルの観察

ウミホタルを観察し、海や生き物の環境について学習。



届けよう服のチカラプロジェクト

服のリサイクルを通して海や環境の持続可能性を理解。

阪南市立 舞小学校



海苔すき体験

海苔すき体験で海や阪南市の伝統技法の価値を学習。



フルポ酸づくり

フルポ酸づくりから、山と海の関係性を学んだよ。

阪南市立 朝日小学校



ビーチコーミング

海や生き物を観察。作品作りでいろんな関わりを考えたよ。



山中溪の学習

川の生き物を観察し、水質判定で川の環境や生態系を学習。

阪南市立 上荘小学校



海藻万華鏡

海藻と海草の違いを知り、海藻万華鏡づくりで海を学習。



稲作について

田植えや稲刈り収穫したお米を味わい水の大切さを実感。

阪南市立 桃の木台小学校



水産試験場見学

水産試験場で、魚や海の生き物に触れて理解を深めたよ。



海を取り巻く環境問題

藻場や生き物のつながりを知り環境保全の考え方を学習。

海から はじまる未来

「はんなん海洋リテラシー」が育むチカラ

海からつながる未来をいっしょに見つけよう!



バブルはなてい

※阪南市キャラクター「はなてい」



阪南市は「SDGs未来都市」として豊かな地域資源を活かした持続可能なまちづくりを進めています。

お問い合わせ

阪南市教育委員会 生涯学習部 学校教育課
〒599-0292 大阪府阪南市尾崎町35-1
TEL:072-489-4541 Eメール:gakkou-k@city.hannan.lg.jp



バブルはなてい

くわしくはWEBで見てね!



阪南市教育委員会
阪南市海洋教育推進協議会

きらめく海に、未来のヒント。

阪南の海には、身近に触れられる生き物や、暮らしを支える文化・産業が広がっています。海から学び、体験することで得られる知識や気づきは、地域への愛着からはじまり、まず自分にできること、みんなのできること、地域や社会にできることへと広がり、やがて未来を考え行動する力につながります。小さな発見が、大きな学びへ——きらめく海に、未来のヒントが隠れています。



漁港見学

漁港見学や漁師さんの話を通して、漁や海の世界を学ぶ

ワカメの養殖

ワカメを育てて、海の栄養や生き物のつながりを学ぶ

海苔すき体験

漁港でとれた生海苔から海苔をつくり、海や産業を学ぶ

男里川の生き物探し

干潟の生き物を観察し、山・川・海の水や栄養のつながりを学ぶ

フルボ酸づくり

海藻や小枝でフルボ酸を作り、自然のつながりや理学的思考を育む

米づくり

田植えや稲刈りでお米を収穫し、暮らしと水の関わりを学ぶ

アマモの栽培活動

「海のゆりかご」と言われるアマモを育て、海と生き物のつながりを学ぶ

地引網体験

地引網を体験し、漁業や海の生き物について学ぶ

チリモン図鑑づくり

ちりめんじゃこに混ざる生き物を探して観察。海の生き物のことを知る

山中溪の学習

山中溪の生態を観察し、山・川・海のがりを学ぶ

阪南市では、自然を活かした海洋教育の取組をたくさん行っているよ!



Q 「はんなん海洋リテラシー」は何のために必要なの?

A 子どもたちが学びをもっと深め、将来に役立てる力を育てるためです。阪南の海や川、山など身近な自然と関わりながら、**学校で学ぶいろいろな教科を横断的につなぎ**、**自然の中で考えたり伝えたりする力や、情報を上手に使う力**、そして地域を大切に思う気持ちも育てます。

国語科 漁港で聞いた話の内容を捉え、考えた内容を新聞づくりでまとめ、発表。

理科 身近な阪南の海のワカメの育ち方と、山の栄養が川を通して海に流れてくることをつなげて学ぶ。

例えば... /

学びのポイント

- 1 はんなんの海に出会い親しむ**
海にはいろんな生き物がいっぱい! 体験して五感で感じながら、海にワクワクしよう。
- 2 はんなんの海のすばらしさを知る**
生き物たちの命のつながりを知って、わたしたちの生活も海に支えられていることを発見しよう。
- 3 はんなんの海と川と山のつながりを知る**
川や山の自然を大切にすると、海も元気になるんだ。身近な自然を育てて楽しもう。
- 4 はんなんの海の文化や産業について知り、伝える**
漁業や養殖、海との暮らしから生まれた文化や歴史にもふれて、海の世界をもっと知ろう。
- 5 はんなんの海と自然環境のこれからを考え行動する**
阪南市や大阪湾、世界の海を未来に残すために、自分にできることを考えて行動してみよう。

海から学んで、未来をつくる力を身につけよう!